

第4回新市名称及び市章選定小委員会会議結果報告書

開催日時	平成15年 11月21日(金) 13:30~16:03						
開催場所	三本木町役場ふれあいホール						
委員の出欠 出席者 欠席者×	委員長 (古川市市会議員)	佐藤 勝		委員 (松山町住民代表)	松本 美佐子	×	
	副委員長 (岩出山町住民代表)	猪股 松男		委員 (三本木町住民代表)	工藤 俊一		
	副委員長 (松山町議会議員)	小笠原 康次		委員 (三本木町住民代表)	寺澤 道子		
	委員 (三本木町議会議員)	三浦 幸治		委員 (鹿島台町住民代表)	中條 勲		
	委員 (鹿島台町議会議員)	畑中 理一郎		委員 (鹿島台町住民代表)	中村 喜恵		
	委員 (岩出山町議会議員)	佐藤 智		委員 (岩出山町住民代表)	中鉢 恵美		
	委員 (鳴子町議会議員)	大場 常男		委員 (鳴子町住民代表)	菊地 美恵子		
	委員 (田尻町議会議員)	嶋田 穎夫		委員 (鳴子町住民代表)	高橋 弘美	×	
	委員 (古川市住民代表)	石村 明美		委員 (田尻町住民代表)	石澤 京子		
	委員 (古川市住民代表)	門脇 基		委員 (田尻町住民代表)	戸島 潤		
	委員 (松山町住民代表)	角田 真寿美					
				出席者19名・欠席者2名			
	事務局	事務局次長 岡本透,					
広報広聴班: 班長 小田中隆行, 主任 中田健一, 班員 菅原和成							
総務班: 班員 大友郁夫, 囑託員 千葉敦子							
傍聴者	一般 7名 ・ 報道関係 3名(3社)						
委員長の署名							

会議次第

<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 開会の挨拶 3. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新市名称候補第2次選考作品選考理由について 4. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新市名称候補の最終選考について 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 新市の名称名付け親大賞等各賞の抽選方法について (2) 新市の名称名付け親大賞等各賞の賞品リストについて (3) 新市の市章選定の流れについて 6. 閉会の挨拶 7. 閉 会

議事の概要

1. 開会・・・広報広聴班 中田主任（司会進行）
2. 開会の挨拶・・・佐藤（勝）委員長
3. 報告事項「新市名称候補第2次選考作品理由について」・・・議長 佐藤（勝）委員長
事務局・・・資料に基づき説明（広報広聴班 小田中班長）。

資料4 ページ「おおさき」の名称選定の理由の7行目「さらに七つの市町が和をもって、大きな花がさき、一つにまとまって欲しいという願いが込められている。」の下線の部分を追加訂正。

確認事項・・・新市名称候補第2次選考理由については、下記のとおりとすることを確認した。

【新市名称候補第2次選考作品及び選考理由】

（50音順）

名 称	ふりがな	名称候補選考理由
いなほ	いなほ	大崎平野の稲穂がなびく様は日本の原風景であり、1市6町が一つとなった大崎平野の美しい田園風景がイメージできる。 また、これからも、新市が黄金色の稲でおおわれるように願いをこめると共に、良質米の産地として、全国にアピールのできる名称である。
大崎	おおさき	大崎地方、大崎平野、大崎耕土という表現が定着しており、地理的な特徴が顕著であると共に、慣れ親しんだ呼称でもあり、構成する1市6町を総称し、すべての人が共有できる。 また、歴史的、文化的な背景があり、知名度を考えても適当であり、大崎地方の中心となって発展していく新市の名称にふさわしい。
おおさき	おおさき	大崎地方、大崎平野、大崎耕土という表現が定着しており、地理的にイメージしやすく、歴史的、文化的な背景があると共に、ササニシキなど宮城米の米どころとして親しみが持て、豊饒の大地、大崎平野の中心にある14万都市の名称としてふさわしく、すべての人が共有できる。 また、ひらがな表記にすることにより、優しく、なごやかな思いやりが感じられ、さらに七つの市町が和をもって大きな花がさき一つにまとまって欲しいという願いが込められている。
北宮城	きたみやぎ	宮城県の北部に位置する、政治、経済、文化の中核都市にふさわしい名称である。 また、地理的にも理解されやすく、宮城県の北都として県内外にアピール出来る。
新古川	しんふるかわ	現在の古川市は、1市6町の中心部で国、県の出先機関が集中すると共に、ササニシキ、ひとめぼれなどの銘柄米の生まれた地で全国的に知名度が高く交通の要所でもある。 また、1市6町が合併することにより、一つになって新たに生まれ変わっていく意味と一体感を培っていくためにもふさわしい名称である。
古川	ふるかわ	古川市は、ササニシキ、ひとめぼれの銘柄米の生まれた地であると共に、名称は、東北新幹線の駅や東北自動車道のインターチェンジに使われており、慣れ親しんだ名称で知名度が高い。 また、新市の位置的、経済的、産業的中心地として国、県の出先機関のある市の名称としてふさわしい。
ふるかわ	ふるかわ	東北新幹線の駅や東北自動車道のインターチェンジの名称に使われており、ササニシキ、ひとめぼれの発生の地として全国的に知れ渡っていると共に、新市の位置的、経済的、産業的中心地として国、県の出先機関のある市の名称としてふさわしい。 また、ひらがな表記にすることで、柔らかく親しみやすく、新しい市としてアピールできる。
みずほ	みずほ	いにしえ みずほ 日本の国は、古より豊葦原の瑞穂の国と呼ばれており、「ササニシキ」、「ひとめぼれ」などの銘柄米を生み出した新市は、日本でも有数の穀倉地帯であり、まさに「みずほ」の国そのものであります。 また、新市の豊かな自然と水田の調和した姿が田園都市をイメージさせると共に、みずみずしさを連想させる名称である。
みちのく	みちのく	みちのくという言葉は「万葉集」や「奥の細道」でもなじみ深く、歴史的、文化的、地理的に地名度も高く、言葉のひびきにやさしさや癒しを感

		<p>じさせる。</p> <p>また、東北の中心都市・仙台の北部に位置し、自立する地方政府たらんとする新市にふさわしい名称であり、新市の誕生を全国に発信できる。</p>
宮城	みやぎ	<p>宮城県内には県名と同じ市名がなく、県名をそのまま名付けることにより、知名度のアップ効果が期待できると共に、全国に新市を発信できる。</p> <p>また、個性豊かな市町が合併することにより、宮城県を代表する市になって欲しいという、未来への夢と願いを込めた名称としてふさわしい。</p>

4. 協議事項「新市名称候補の最終選考について」…議長 佐藤（勝）委員長

確認事項

- 1) 最終選考は、第2次選考作品の中から、各委員1人3点を選ぶこととし、無記名投票を行うことを確認した。
- 2) 1枚の用紙に各委員3点を記入することとした。
- 3) 白票の取扱いについて、第2次選考と同様、小委員会委員は住民の代表としての立場（白票による権利の放棄は行わない）から必ず3点を記入することを確認した。
- 4) 新市名称候補最終選考作品は投票数の多い上位5位とすることとし、その選考理由を付して協議会へ報告することを確認した。また投票の結果、件数が5点に満たない場合はその名称数を名称候補として報告することを確認した。新市名称候補の最終報告における選考理由については、最終選考終了後、第2次選考作品選考理由をもとに再確認をすることとした。

新市名称候補の最終選考（無記名投票）

- 1) 佐藤委員長の指名により、三本木町住民代表寺澤委員、古川市住民代表石村委員を投開票立会人とし、投票を行った。

投票者18人（54票）

会議出席者は19人であるが、投票は18人で行った。1人の委員は最終選考の投票が終了し、投票総数の確認を行い休憩に入ってからからの出席のため、会議の中で投票は行わせないことを確認した。

投票後、投票総数を確認し暫時休憩とした。（午後1時52分）…事務局・投開票立会人により開票、事務局により集計作業を行う。

再開（午後2時15分）

- 2) 事務局より投票の集計結果を報告、投票による上位5位である下記の名称候補6点を最終選考作品とすること、選考理由については第2次選考作品理由をもって最終選考理由とすることとし、12月5日に開催する第8回大崎地方合併協議会に報告することを確認した。

【新市名称候補第最終選考作品及び選考理由】

（50音順）

名 称	ふりがな	名称候補選考理由
大 崎	おおさき	<p>大崎地方、大崎平野、大崎耕土という表現が定着しており、地理的な特徴が顕著であると共に、慣れ親しんだ呼称でもあり、構成する1市6町を総称し、すべての人が共有できる。</p> <p>また、歴史的、文化的な背景があり、知名度を考えても適当であり、大崎地方の中心となって発展していく新市の名称にふさわしい。</p>
おおさき	おおさき	<p>大崎地方、大崎平野、大崎耕土という表現が定着しており、地理的にイメージしやすく、歴史的、文化的な背景があると共に、ササニシキなど宮城米の米どころとして親しみが持て、豊饒の大地、大崎平野の中心にある14万都市の名称としてふさわしく、すべての人が共有</p>

		<p>できる。</p> <p>また、ひらがな表記にすることにより、優しく、なごやかな思いやりが感じられ、さらに七つの市町が和をもって大きな花がさき一つにまとまって欲しいという願いが込められている。</p>
北 宮 城	きたみやぎ	<p>宮城県の北部に位置する、政治、経済、文化の中核都市にふさわしい名称である。</p> <p>また、地理的にも理解されやすく、宮城県の北都として県内外にアピール出来る。</p>
古 川	ふるかわ	<p>古川市は、ササニシキ、ひとめぼれの銘柄米の生まれた地であると共に、名称は、東北新幹線の駅や東北自動車道のインターチェンジに使われており、慣れ親しんだ名称で知名度が高い。</p> <p>また、新市の位置的、経済的、産業的中心地として国、県の出先機関のある市の名称としてふさわしい。</p>
ふるかわ	ふるかわ	<p>東北新幹線の駅や東北自動車道のインターチェンジの名称に使われており、ササニシキ、ひとめぼれの発生の地として全国的に知れ渡っていると共に、新市の位置的、経済的、産業的中心地として国、県の出先機関のある市の名称としてふさわしい。</p> <p>また、ひらがな表記にすることで、柔らかく親しみやすく、新しい市としてアピールできる。</p>
宮 城	みやぎ	<p>宮城県内には県名と同じ市名がなく、県名をそのまま名付けることにより、知名度のアップ効果が期待できると共に、全国に新市を発信できる。</p> <p>また、個性豊かな市町が合併することにより、宮城県を代表する市になって欲しいという、未来への夢と願いを込めた名称としてふさわしい。</p>

5. その他・・・議長 佐藤（勝）委員長

(1) 新市の名称名付け親大賞等各賞の抽選方法について

事務局・・・資料に基づき説明（広報広聴班 小田中班長）。

確認事項

- 1) 特別賞の30名の抽選方法について、新市名称応募要領に従い、「名付け親大賞」「名付け親賞」に該当しない応募者全員の中から「新市名称の応募の際の理由の有無」にかかわらず無作為に抽選で選ぶことを再度確認した。
- 2) 特別賞の抽選に際して、小委員会における公平性を欠かない基準の範囲内で地域性を加味し、応募者（小中学生含）の居住地により1市6町から各2名ずつ、それ以外の地域から2名の当選者が出るように地域枠を設けることとした。抽選における流れは下記のとおりとした。

特別賞（30名）の抽選の流れ

(1) 地域枠により抽選（16名）

名付け親大賞、名付け親賞に当選しなかった応募者全員を居住地別に分け、各構成市町とその他地域ごとに抽選を行う。

各地域の割り当て

古川市（2名）、松山町（2名）
 三本木町（2名）、鹿島台町（2名）
 岩出山町（2名）、鳴子町（2名）
 田尻町（2名）、その他の地域（2名）



(2) 応募者全員から抽選（14名）

名付け親大賞、名付け親賞、地域枠の抽選で当選しなかった応募者全員（全体）の中から抽選を行う。



(1),(2)を合わせて、
特別賞30名が決定。

暫時休憩（午後3時27分）

再開（午後3時40分）

（2）新市の名称名付け親大賞等各賞の賞品リストについて

事務局・・・資料に基づき説明（広報広聴班 小田中班長）。

第6回協議会で鳴子町の委員の方から賞品の無償提供があるという件については、鳴子町と鳴子町観光協会が協議・調整を行っている旨を報告。詳細については、決定後連絡すること、賞品リストについては「名付け親賞」「特別賞」に関わる賞品であることを説明。

確認事項

- 1）賞品の中にはお酒等が含まれているため、小学生等未成年への賞品リストの発送に際しては、保護者等を介して送付するなどの方法をとることを確認した。
- 2）賞品リストについては、原案のとおりとすることとした。

（3）新市の市章選定の流れについて

事務局・・・資料に基づき説明（広報広聴班 小田中班長）。

確認事項

- 1）今回は市章選定に係る全体的な流れの提示であり、市章選定に係る具体的な「新市の市章候補募集要領」「新市の市章候補選定基準」の内容については1月下旬頃開催予定の小委員会に改めて事務局（案）を提示し、協議することを確認した。
- 2）新市の名称がいかなる名称に決定しても、1市6町での新しい市が誕生することを鑑みながら、募集する、しないについては次回の小委員会において協議することを確認した。
- 3）新市の市章選定の流れについては原案のとおりとすることを確認した。

その他の確認事項として、次回の会議予定については、新市の名称が決定後（予定）により、1月下旬を予定していることを確認した。

6．閉会の挨拶・・・猪股副委員長

7．閉会・・・広報広聴班 中田主任

